

# 2016年度 TMSナビ ストレスチェックの結果に関する調査

## TMSナビ導入団体及び企業のストレスチェック 有効回答率は88.3%

団体及び企業のメンタルヘルスケア体制の構築を総合的にサポートし、高い回答率を実現！  
(対象者210,282名中、有効回答185,783名)

### 1.導入企業全体の高ストレス者割合

➤ 女性は男性よりも高ストレス者割合が高い

集団名	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	高ストレス者数 (人)	高ストレス者割合 (%)
全体	210,282	185,783	24,166	13.0
男性	159,073	140,248	17,497	12.5
女性	51,209	45,535	6,669	14.6

### 2.年代別高ストレス者割合

➤ 働き盛り(30~40代)の高ストレス者割合が高い

年代	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	高ストレス者数 (人)	高ストレス者割合 (%)
20代	41,233	36,599	5,080	13.9
30代	54,696	48,227	7,260	15.1
40代	58,453	52,408	7,417	14.2
50代	42,718	37,428	3,900	10.4
60代以上	11,349	9,529	364	3.8

### 3.残業時間別高ストレス者割合

➤ 残業時間が増えるほど高ストレス者割合も高くなる傾向

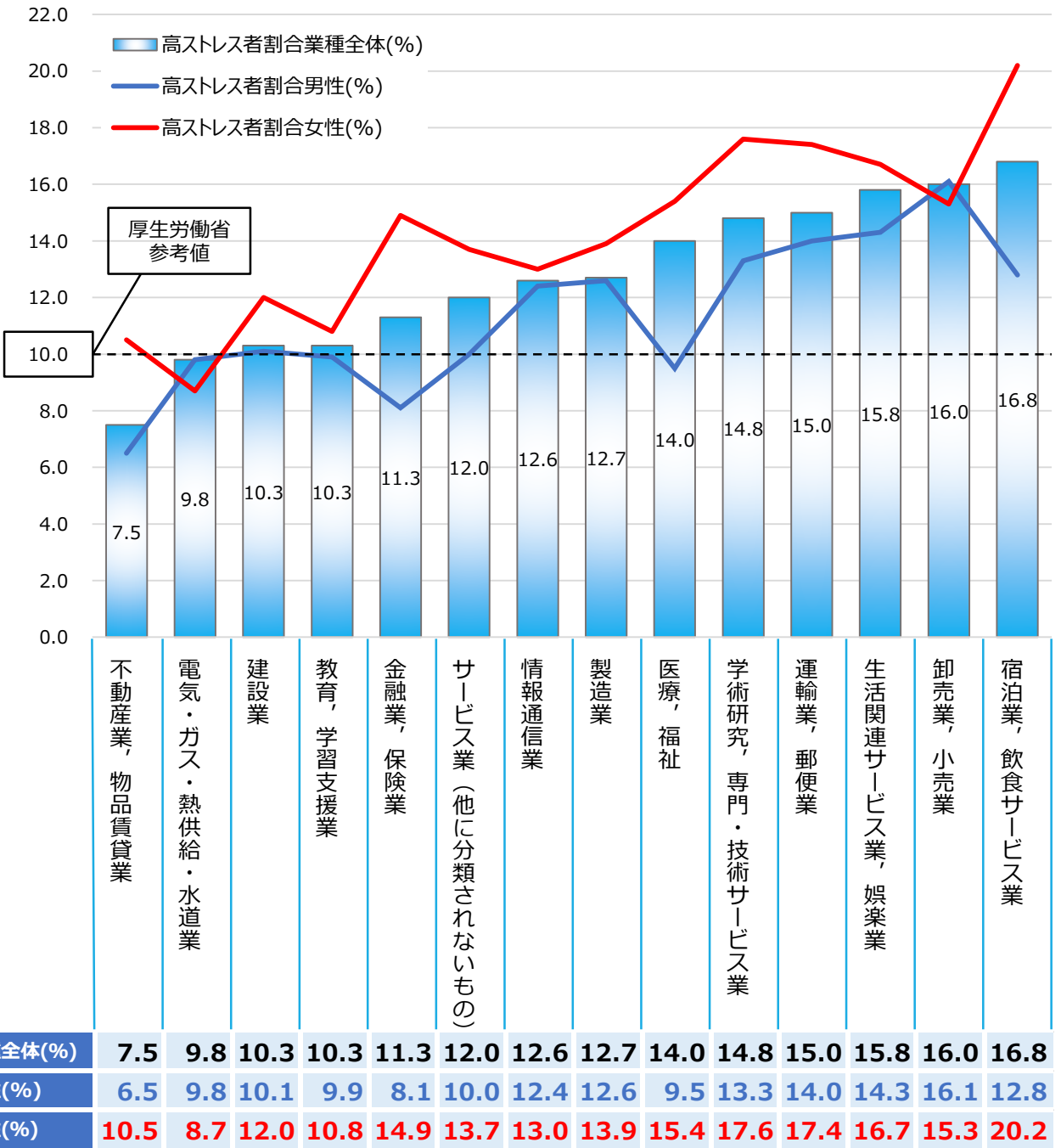
残業時間	有効回答数 (人)	高ストレス者数 (人)	高ストレス者割合 (%)
残業時間 (11~20時間)	30,939	3,910	12.6
残業時間 (21~30時間)	26,929	3,703	13.8
残業時間 (31~40時間)	18,875	2,819	14.9
残業時間 (41~45時間)	8,227	1,309	15.9
残業時間 (46~50時間)	4,242	735	17.3
残業時間 (51時間以上)	8,318	1,836	22.1



## 4.業種別高ストレス者割合

※業種分類は日本標準産業分類を使用

- <電気・ガス・熱供給・水道業>と<卸売業・小売業>は全体傾向に反し、女性の高ストレス者割合が男性よりも低い結果に
- 高ストレス者割合1位と2位の業種間で男女差が逆転
- 当初<情報通信業>の高ストレス者割合は高いことが予測されたが、本調査では14業種中7番目という結果となった



(注)本調査はデータ利用の許可を頂いた団体及び企業のデータのみ分析対象としています